

**株主各位**

**監査報告書日後に発生した事象について**

2023年5月11日に公表しました2022年度決算報告書につきまして、新たに生じたりコールの届け出の決定などにより、品質関連費用に関する見積りに変更が生じました。その結果、586億円の品質関連費用の発生が見込まれます。

当該事象については、会社法監査における会計監査人の監査報告書日（2023年5月16日）後に発生していることから、連結計算書類および計算書類の修正が必要となる修正後発事象に該当せず、2022年度の事業報告には反映されません。

なお、2022年度の期末配当額（1株当たり60円）に変更はありません。また、2023年5月11日に公表した2023年度の連結業績予想および年間配当予想（1株当たり150円）につきましても、変更いたしません。

役員報酬のうち、2022年度の業績に連動するSTI（Short Term Incentive）は、修正後発事象反映後の業績に基づいて再計算のうえ支給いたします。これにより、STIの支給総額は、執行役6名に対し、229百万円（2022年度の事業報告の記載金額に対し8百万円減額）となります。

（2023年6月下旬に提出予定の有価証券報告書に反映されます。）